

第 63 回大会準備状況

教育史学会第63回大会は、2019年9月28日（土）、29日（日）の日程で静岡大学（静岡キャンパス）にて開催いたします。大会準備委員会では、以下のようなシンポジウムを企画しております。

《テーマ》

スポーツと人間形成

— 教育とスポーツの関係史を問い直す —

日 時：9月29日（日）12:30～15:50

場 所：静岡大学（静岡キャンパス）

共通教育B棟301番教室

報告者：佐々木浩雄（龍谷大学）

中澤篤史（早稲田大学）

來田享子（中京大学）

指定討論者：

鈴木明哲（東京学芸大学）

白水浩信（北海道大学）

司 会：藤井基貴（静岡大学）

吉川卓治（名古屋大学）

《趣旨》

スポーツの歴史は教育の歴史においても重要な一環をなしている。現代オリンピック復興の立役者であるクーベルタンは「スポーツの力を取り込んだ教育改革を地球上で展開し、これによって世界平和に貢献する」という理念を掲げ、オリンピックは「スポーツの祭典」であると同時に「平和の祭典」であると宣言して、そのための教育改革にも力を注いだ。

しかしながら、スポーツと教育の関係史はさまざまな困難や矛盾の歴史でもあった。近代国家の成立にともなって、スポーツは権力構造のなかで国家化・近代化の道具として巧みに利用されてきたことは周知の事実である。また、現代においてはスポーツにおける商業主義の拡大がスポーツの持つ文化的価値を毀損し続けているという指摘もなされている。さらに、勝利至上主義の行き過ぎによって、昨今のスポーツ界ではドーピングやハラスメントによる不祥事やスキャンダルが深刻な陰をおとしている。スポーツや学校体育への社会的関心が高まるなかであって、本シンポジウムでは教育史とスポーツ史の専門家の対話を通して、教育とスポーツの関係史を問い直すことを目指す。

報告者には日本体育学会副会長及び体育史学会理事である來田享子氏、2016年に『体操の日本近代：

戦時期の集団体操と〈身体の国民化〉』を上梓した佐々木浩雄氏、2014年に『運動部活動の戦後と現在』を発表して、部活動問題に一石を投じた中澤篤史氏に登壇いただき、指定討論を教育史学会の会員である鈴木明哲会員及び白水浩信会員が行う。司会進行は藤井基貴会員及び吉川卓治会員がつとめる。

シンポジウムの企画にあたり、スポーツ史分野の研究者を紹介くださった來田氏は「スポーツ組織の権力のダイナミクス、ジェンダーなどの観点から国内外の史料を分析し、国際的な動向が日本に与えた影響」について研究されており、当該分野の第一人者として国際機関における「性別確認検査」の歴史的起点を中心にご報告をいただく。佐々木氏には近代日本における国民統合や国家による体力管理と体育・スポーツのあり方がどのように相互作用をもったかについてご報告いただく。中澤氏には運動部活動や学校体育を中心に、スポーツが日本の学校教育と結び付いてきた歴史的背景についてご報告をいただく。鈴木会員及び白水会員からはスポーツ史における研究成果を受けて、教育史・思想史の視点を交えた論点提示を行っていただき、フロアーへの問題提起とする。報告及び討議の内容は教育史・スポーツ史にとどまらず、政治史、外交史、社会史とも接続するものである。

なお、本大会のシンポジウムは会場校及びシンポジウムの都合により、例年の土曜開催から日曜開催へと変更しているのでご留意されたい。

大会情報の詳細につきましては同封の「開催のご案内」及び大会ウェブサイトをご覧ください（教育史学会ホームページよりリンクしております）。また、研究発表およびコロキウムの申し込みにつきましてはウェブサイトを通して行います。

なお、当日は静岡県内でラグビーワールドカップの日本戦が予定されておりますので、お早めに宿をご予約いただくようお願い申し上げます。準備委員一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第63回大会準備委員会
菅野 文彦

機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集委員会委員長 八 嶽 友広

2019年5月3日にお茶の水女子大学において開催された第4回機関誌編集委員会において、『日本の教育史学』第62集に掲載する論文を下記の通り決定しましたので、お知らせします。

- (1) 湯川文彦（お茶の水女子大学）
明治10年代における法的承認と教育令改正
- (2) 林 喜子（名古屋大学・大学院生）
奈良女子高等師範学校附属小学校における「特別学級」の成立
- (3) 橋本 萌（お茶の水女子大学・研究員）
1920年代小学校最上級学年児童の宮城拝観についての一考察
- (4) 上田誠二（横浜高等教育専門学校）
小学校『同窓会雑誌』にみる大衆消費社会の到来に対峙する農村青年の意識
—1920—30年代の東京府南多摩郡鶴川村尋常高等小学校を事例として—
- (5) 山本一生（上田女子短期大学）
華北占領期の公立小学校における学生の属性—青島特別市を事例として—
- (6) 三浦 啓（東京大学・大学院生）
近代初期イギリスにおける^{ガヴァナー}教導者論の展開—ジョン・デュリー『改革学校』を手がかりに—
- (7) 本多みどり（帝京科学大学）
イギリスにおける「教育学教授」誕生の背景—「教育の科学」という言説に着目して—
- (8) 藤井利紀（名古屋大学・大学院生、日本学術振興会特別研究員）
キール教育アカデミーにおける学外実習改革に関する研究
—教育アカデミーの理念の具体化を求めたカリキュラム改革の視点から—

今回の投稿論文数は28本（日本20本、東洋2本、西洋5本、日本・西洋1本）となりましたが、字数超過等により3本が不受理となりました。投稿者の方は、「論文投稿に際しての留意事項」を熟読の上投稿いただきますよう、切にお願いいたします。

前回総会において決定いたしましたとおり、本号より、論文審査手続が抜本的に改定されました。第一段階審査の結果によって、投稿者に原稿修正の機会が設けられることとなりました。これら第二段階審査に付された投稿者には編集委員会より修正意見が提示され、投稿者は、それにもとづいて修正した原稿を再提出することができるようになりました。以上の投稿論文審査手続の改定は、できるだけ多くの方の投稿論文を掲載できるようにすることを目的としたものです。会員諸氏におかれましては、手続改定の趣旨をご理解いただき、今後さらに多数の投稿をいただけることを切に期待しております。

なお、新しい論文審査手続においては、編集委員以外の会員に「特別委員」として審査に加わっていただく制度を大幅に拡充し、多くの会員に特別委員となっていただきました。今回の審査においては、18名の会員に特別委員をお引き受けいただきました。特別委員をお務めいただきました会員のご協力に対しまして、紙上をお借りして深く感謝申し上げる次第です。審査においてより専門的な知見をいかした判断をするために、今後とも多くの会員に特別委員を委嘱することとなるかと思えます。委嘱があった際には、できるかぎりご協力いただきますようお願いいたします。

新しい投稿論文審査手続による論文審査は、今回が最初のケースとなります。審査手続には、改善すべき点も少なくないと思われます。今後、編集委員会はもとより理事会等においても審査手続の改善について検討していくことが求められています。会員諸氏におかれましても、ご意見等がありましたら、学会事務局にお寄せいただければと思います。

* 図書

- ・熊谷芳郎『一九三三年の大学対抗ディベート—彼らは何を指したのか』溪水社 2018/9/27
- ・ハロルド・O・ラッグ著、渡部竜也・斉藤仁一朗・堀田論・桑原敏典訳『アメリカ人の生活と学校カリキュラム—生活に根差した学校に向けての次のステップ』春風社 2018/9/30
- ・田中友佳子『植民地朝鮮の児童保護史—植民地政策の展開と子育ての変容』勁草書房 2018/10/20
- ・新保敦子『日本占領下の中国ムスリム—華北および蒙疆における民族政策と女子教育』早稲田大学出版部 2018/10/25
- ・木下知威編『伊沢修二と台湾』国立台湾大学出版中心 2018/11
- ・藤本和久『マクマリーのタイプ・スタディ論の形成と普及—カリキュラムとその実践思想を読み解く基盤』風間書房 2018/11/15
- ・小山静子・小玉亮子編著『子どもと教育—近代家族というアリーナ』日本経済評論社 2018/12/25
- ・久井英輔『近代日本の生活改善運動と〈中流〉の変容—社会教育の対象／主体への認識をめぐる歴史的考察』学文社 2019/1/25
- ・佐藤広美『「誇示」する教科書—歴史と道徳をめぐって』新日本出版社 2019/1/25
- ・吉野剛弘『近代日本における「受験」の成立—「資格」試験から「選抜」試験へ』ミネルヴァ書房 2019/2/10
- ・別役厚子『子どもの貧困と教師—東京市万年小学校をめぐる苦悩と葛藤』六花出版 2019/2/16
- ・高橋陽一『くわしすぎる教育勅語』太郎次郎社 2019/2/20
- ・土屋敦・野々村淑子編著『孤児と救済のエポック—十六～二〇世紀にみる子ども・家族規範の多層性』勁草書房 2019/2/20
- ・高橋陽一『共通教化と教育勅語』東京大学出版会 2019/2/21
- ・青山貴子『遊びと学びのメディア史—錦絵・幻燈・活動写真』東京大学出版会 2019/2/21
- ・佟占新『戦後日本の道徳教育の成立—修身科の

- 廃止から「道徳」の特設まで』六花出版 2019/2/28
- ・村野正景・和崎光太郎編『みんなで活かせる！学校資料—学校資料活用ハンドブック』京都市学校歴史博物館 2019/3/1
- ・石橋哲成・佐久間裕之編著『西洋教育史 新訂版』玉川大学出版部 2019/3/10
- ・歌川光一『女子のたしなみと日本近代—音楽文化にみる「趣味」の受容』勁草書房 2019/3/20
- ・小峰総一郎『ナチスの教育—ライン地方のあるギムナジウム』学文社 2019/3/25
- ・青木栄一編著『文部科学省の解剖』東信堂 2019/3/30

* 紀要・ニューズレターなど

- ・『玉川大学教育博物館 館報』第16号 2017年度玉川大学教育博物館 2018/8/31
- ・清水 寛「京都府立与謝の海養護学校の歩みに学ぶ—青木嗣夫を中心にして」『与謝の海創立50周年記念誌』別刷 与謝の海創立50周年実行委員会 2018/9
- ・『筑波大学教育学系論集』第43巻第1号 筑波大学人間系教育学域 2018/10/1
- ・『大学教育学会ニューズレター』No. 109 大学教育学会 2018/10/2
- ・『ディルタイ研究』第29号 日本ディルタイ協会 2018/11/18
- ・『教育社会史資料研究』第14号 教育社会史史料研究会 2018/12/20
- ・『慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要 人間と社会の探究』第86号 慶應義塾大学大学院社会学研究科 2018/12/30
- ・『大学教育学会誌』第40巻第2号（通巻第78号）大学教育学会 2019/2/4
- ・『大学教育学会ニューズレター』No. 110 大学教育学会 2019/2/6
- ・『立教学院史研究』第15号 立教大学立教学院史資料センター 2019/2/28
- ・『筑波大学教育学系論集』第43巻第2号 筑波大学人間系教育学域 2019/3

- ・『日本仏教教育学研究』第27号 日本仏教教育学会 2019/3/31
- ・『玉川大学教育博物館 紀要』第16号 玉川大学教育博物館 2019/3/31
- ・『名古屋大学大学文書資料室紀要』第27号 名古屋大学大学文書資料室 2019/3/31
- ・『名古屋大学大学文書資料室ニュース』第36号 名古屋大学大学文書資料室 2019/3/31
- ・『大学教育学会ニュースレター』No. 111 大学教育学会 2019/4/19

事務局からのお知らせ

1. 書評委員の選出について

2019年3月理事会にて第63集の書評委員を選出いたしました。選出された委員は以下の通りです。

■第63集書評委員

日本：川村 肇（獨協大学）
坂本 紀子（北海道教育大学）
前田 一男（立教大学）
東洋：駒込 武（京都大学）
樋浦 郷子（国立歴史民俗博物館）
西洋：宮本健市郎（関西学院大学）
渡邊 隆信（神戸大学）

2. 会費納入のお願い

2018年9月より第62回大会年度がスタートしています。5月10日時点で今年度および過年度会費をお支払いいただいている会員には、払込用紙を同封させていただきました。会費のすみやかな納入にご協力ください。年会費の納入は「ゆうちょ銀行」口座からの自動引き落としが便利です。自動引き落としをご希望の方は、必要書類をお送りいたしますので、事務局までお申し越してください。

3. 会員登録の変更について

住所や所属が変更になった場合は、事務局に変更届をご提出ください。変更届は学会ホームページよりダウンロードできます。メールでも受け付けておりますので、よろしく願いいたします。

4. 役員選挙について

2019年7月に役員（理事・監査）の選挙を行います。6月中に被選挙人名簿・投票用紙を送付しますので、ご投票下さいますよう、お願いいたします。

5. 『教育史研究の最前線』および『教育史研究の最前線Ⅱ—創立60周年記念』について

教育史学会50周年記念出版『教育史研究の最前線』（日本図書センター）と60周年記念出版『教育史研究の最前線Ⅱ』（六花出版）のチラシを同封しました。両書合わせて勤務先の図書館に入れていただくなど、普及にご協力ください。

2019年5月
学会事務局 湯川 嘉津美

教育史学会 会報 No. 125 2019年5月25日

編集・発行 教育史学会事務局 湯川嘉津美
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
上智大学総合人間科学部
湯川嘉津美研究室気付
電話 03 (3238) 3586
電子メール mail@kyouikushigakkai.jp
郵便振替口座 00140-0-552760 教育史学会事務局

印刷 城島印刷株式会社